環境会計

環境会計の考え方

ブラザーグループは、環境経営を継続的に効率化する有効な手段として、国内8事業所(以下、国内)と海外生産拠点(以下、海外)を対象に環境会計を実施しています。その結果、どの程度の効果が得られたかを定量的に把握して、次年度の環境活動に反映しています。

2024年度の集計結果

「ブラザーグループ中期環境行動計画 2024」(2022～2024)の最終年度、2024 年度における環境活動の費用および投資額とその効果(増減値は前年度との比較)です。

環境保全コスト

投資額は、国内では６千３百万円となり２億９千６百万円減少、海外では 11 億３千９百万円となり２億９千４百万円増加しました。全体では１２億２百万円となり２百万円の減少となりました。投資の主な目的は、国内外共に太陽光、省エネ施策などの地球環境保全です。

環境保全活動に費やした経費および人件費は、国内では９億８千６百万円となり２千４百万円減少、海外では３億６千２百万円となり５千３百万円減少しました。

2024 年度は、国内で非化石証書の購入に約 1 千万円費やしています。

環境保全コストの分類		主な取り組みの内容およびその効果	投資額(百万円)		費用額(百万円)	
			国内	海外	国内	海外
1.事業エリア内コスト	1) 公害防止コスト	大気/水質/振動/騒音などの公害防止	0 (△3)	0 (△1)	15 (2)	121 (△57)
	2) 地球環境保全コスト	温暖化防止(省エネ)対策	60 (△275)	1139 (295)	296 (△17)	84 (△3)
	3) 資源循環コスト	廃棄物の発生抑制・リサイクル	3 (3)	0 (0)	108 (2)	85 (12)
2.上・下流コスト	部材調達および製品販売後の環境負荷低減に掛かるコスト	グリーン調達活動、使用済み製品・サプライの回収リサイクル	0 (0)	0 (0)	114 (7)	0 (0)
3.管理活動コスト	事業活動での環境負荷低減に間接的に寄与する取り組みのコスト	ISO 14001 システムの構築・運用・維持、従業員への環境教育、環境情報開示、工場およびその周辺の緑化、美化	0 (△4)	0 (0)	273 (△2)	59 (△6)

© 2025 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4.研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発コスト	省エネ・省資源化設計など気候変動緩和に資する環境配慮製品・技術の開発、製品環境アセスメントの実施・設計改善	0 (△17)	0 (0)	123 (△12)	1 (△4)
5.社会活動コスト	企業活動と直接関係しない環境保全に掛かるコスト	環境保全団体・組織の支援、地域住民の環境活動支援、情報提供	0 (0)	0 (0)	44 (△3)	8 (4)
6.環境損傷対応コスト	土壌浄化など、自然修復に掛かるコスト	土壌汚染調査、土壌浄化	0 (0)	0 (0)	13 (△1)	4 (1)
合計			63 (△296)	1139 (294)	986 (△24)	362 (△53)

(　)内は前年度比増減額

環境保全効果

エネルギーの投入量は、国内では5.9%増加、海外では12.3%増加しました。

水の利用量は、国内では11.0%増加、海外では13.6%の増加となり、全体では13.2%の増加となりました。

CO_2排出量は、国内では0.7%減少、海外では3.4%の増加となり、全体では2.4%の増加となりました。

環境保全効果の内容		環境保全効果を表す内容指標の分類		国内	海外
事業エリア内コストに対応する効果	事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギーの投入	原油換算（kL）	11,185 (620)	26,626 (2,911)
		水の投入量	m^3	94,915 (9,412)	446,474 (53,615)
	事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果	大気への排出量	エネルギー起源の CO_2 (t-CO_2/年) 国際基準排出係数使用	18,613 (△131)	58,866 (1,917)
			NO_X (kg/年)	2,050 (△154)	3,891 (△954)
			SO_X (kg/年)	8 (△2)	208 (△100)
		廃棄物の排出量	廃棄物排出量（t）	2,405 (366)	7,514 (814)
			最終処分量（t）	0 (0)	322 (160)

(　)内は前年度比増減量

© 2025 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

環境保全対策に伴う経済効果*

経済効果は、国内では主にリサイクル活動に伴う廃棄物処理費の削減、海外では廃棄物のリサイクルによる事業収入と省エネ施策によるエネルギー費用の削減です。

経済効果の内容		国内(百万円)	海外(百万円)
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルによる事業収入	12.2 (△3.4)	103.0 (18.1)
費用削減	省エネルギーによるエネルギー費の削減	21.6 (△7.7)	80.0 (△14.9)
	省資源またはリサイクル活動に伴う廃棄物処理費の節減	51.0 (7.7)	748.9 (465.2)
その他効果	新聞雑誌などマスコミの環境活動取材の結果として掲載記事の効果を広告宣伝費相当に換算した金額	72.1 (50.7)	43.3 (43.1)
合計		156.9 (47.3)	975.2 (511.5)

(　)内は前年度比増減額

*: 環境保全対策に伴う経済効果とは、環境保全活動を行った結果から生じる効果のうち、金額換算できる経済効果です。確実な根拠に基づく算定ができない、みなし効果・偶発的効果については算定していません。

集計範囲
国内 8 事業所(ブラザー工業株式会社本社、瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*)、ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.

*: 物流センターについては、環境保全効果のみを集計。

© 2025 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2020 年度～2024 年度の環境会計一覧

環境保全効果

環境保全効果の内容		環境保全効果を表わす内容指標の分類		国 内					海 外				
				2020 年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度	2020年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度
事業エリア内コストに対応する効果	事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギーの投入	原油換算(kL)	10,169	10,775	11,054	10,565	11,185	23,392	25,122	25,190	23,715	26,626
		水の投入量	m^3	80,331	76,787	85,755	85,503	94,915	454,540	477,739	446,417	392,859	446,474
	事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果	大気への排出量	エネルギー起源のCO_2(t-CO_2/年)	20,299	20,654	20,449	18,744	18,613	47112	54,876	61,595	56,949	58,866
			NOx(kg/年)	2,208	2,437	2,920	2,204	2,050	3,438	4,085	3,837	4,845	3,891
			SOx(kg/年)	11	11	13	10	8	142	197	186	308	208
		廃棄物の排出量	廃棄物排出量(t)	1,668	1,944	1,956	2,039	2,405	6,832	6,575	7,494	6,700	7,514
			最終処分量(t)	0	0	0	0	0	123	174	227	162	322

環境保全対策にともなう経済効果

単位：百万円

経済効果の内容		国 内					海 外				
		20120年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルによる事業収入	3.2	14.3	14.5	15.6	12.2	51.6	114.0	176.4	84.9	103.0
費用削減	省エネルギーによるエネルギー費の削減	10.3	15.2	36.9	29.3	21.6	121.9	43.2	58.7	94.9	80.0
	省資源またはリサイクル活動に伴う廃棄物処理費の節減	34.3	37.0	39.3	43.3	51.0	167.1	78.3	599.2	283.7	748.9
その他効果	新聞雑誌などマスコミの環境活動取材の結果として掲載記事の効果を広告宣伝費相当に換算した金額	15.4	17.6	42.0	21.4	72.1	0.2	0.2	0.3	0.2	43.3
合 計		63.2	84.1	132.7	109.6	156.9	340.8	235.7	834.6	463.7	975.2

環境保全コスト

単位：百万円

環境保全コストの分類		主な取り組みの内容およびその効果	国 内									
			投 資 額					費 用 額				
			2020年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度	2023 年度	2024 年度
1.事業エリア内コスト			258	372	181	338	63	385	373	447	432	419
内 訳	1) 公害防止コスト	大気/水質/振動/騒音などの公害防止	0	1	2	3	0	21	17	20	13	15
	2) 地球環境保全コスト	温暖化防止(省エネ)対策	257	318	179	335	60	259	245	317	313	296
	3) 資源循環コスト	廃棄物の発生抑制・リサイクル	1	53	0	0	3	105	111	110	106	108
2.上・下流コスト 部材調達および製品販売後の環境負荷低減に掛かるコスト		グリーン調達活動、使用済み製品・サプライの回収リサイクル	1	0	0	0	0	82	85	92	107	114
3.管理活動コスト 事業活動での環境負荷低減に間接的に寄与する取り組みのコスト		ISO 14001 システムの構築・運用・維持、従業員への環境教育、環境情報開示、工場およびその周辺の緑化、美化	43	93	3	4	0	288	266	273	275	273
4.研究開発コスト 環境負荷低減のための研究開発コスト		省エネ・省資源化設計など気候変動緩和に資する環境配慮製品・技術の開発、製品環境アセスメントの実施・設計改善	42	8	7	17	0	151	340	354	135	123
5.社会活動コスト 企業活動と直接関係しない環境保全に掛かるコスト		環境保全団体・組織の支援、地域住民の環境活動支援、情報提供	0	0	0	0	0	22	18	26	47	44
6.環境損傷対応コスト 土壌浄化など、自然修復に掛かるコスト		土壌汚染調査、土壌浄化	5	0	0	0	0	4	3	3	14	13
合 計			349	473	191	359	63	932	1085	1195	1010	986

単位：百万円

環境保全コストの分類		主な取り組みの内容およびその効果	海 外									
			投 資 額					費 用 額				
			2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
1.事業エリア内コスト			257	69	78	845	1139	144	177	418	338	290
内 訳	1) 公害防止コスト	大気/水質/振動/騒音などの公害防止	148	35	39	1	0	75	102	120	178	121
	2) 地球環境保全コスト	温暖化防止(省エネ)対策	109	34	39	844	1139	23	23	212	87	84
	3) 資源循環コスト	廃棄物の発生抑制・リサイクル	0	0	0	0	0	46	52	86	73	85
2.上・下流コスト 部材調達および製品販売後の環境負荷低減に掛かるコスト		グリーン調達活動、使用済み製品・サプライの回収リサイクル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.管理活動コスト 事業活動での環境負荷低減に間接的に寄与する取り組みのコスト		ISO 14001 システムの構築・運用・維持、従業員への環境教育、環境情報開示、工場およびその周辺の緑化、美化	0	0	0	0	0	35	47	58	65	59
4.研究開発コスト 環境負荷低減のための研究開発コスト		省エネ・省資源化設計など気候変動緩和に資する環境配慮製品・技術の開発、製品環境アセスメントの実施・設計改善	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
5.社会活動コスト 企業活動と直接関係しない環境保全に掛かるコスト		環境保全団体・組織の支援、地域住民の環境活動支援、情報提供	0	0	0	0	0	4	5	6	4	8
6.環境損傷対応コスト 土壌浄化など、自然修復に掛かるコスト		土壌汚染調査、土壌浄化	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
合 計			257	69	78	845	1139	183	229	482	415	362

集計範囲

年 度	期 間	事 業 所 名	
		国 内	海 外
2020 年度	2020年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日	ブラザー工業株式会社本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*1	ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、 ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.
2021 年度	2021年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日	ブラザー工業株式会社本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*1	ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、 ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.
2022 年度	2022年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日	ブラザー工業株式会社本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*1	ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、 ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.
2023 年度	2023年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日	ブラザー工業株式会社本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*1	ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、 ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.
2024 年度	2024年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	ブラザー工業株式会社本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター*1	ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、 ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン),Inc.

*1：物流センターについては、環境保全効果のみを集計。

©2025 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.